

＜対策のポイント＞

フードバンク活動等を通じた食品ロス削減の取組、農林水産・食品産業におけるプラスチック資源循環を推進する取組を支援します。

＜政策目標＞

- 平成12年度比で事業系食品ロス量を半減（273万トン〔令和12年度まで〕）
- 2050年までに海洋プラスチックごみによる追加的な汚染をゼロにまで削減（飲料用ペットボトルの100%有効活用を目指す〔令和12年度まで〕）

＜事業の内容＞

1. 食品ロス削減の推進 66（－）百万円

① 食品ロス削減総合対策事業

ア 食品ロス削減等推進事業

商慣習の見直しに向けた検討や調査、フードバンク活動を推進するマッチングシステムの実証・構築、持続可能な食品産業の発展に向けた環境対策等に取り組む優良者の表彰等を支援します。

イ 食品ロス削減等調査委託事業

食品ロスの実態等を把握するため、食品関連事業者のデータベース整備や食品廃棄物等の可食部量等の調査、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会におけるキャンプ地・ホストタウン等の食品ロス削減啓発手法の実証等を実施します。

② フードバンク活動の推進（食料産業・6次産業化交付金で措置）

設立初期のフードバンク活動団体の人材育成の取組や生鮮食品の取扱量の拡大に向けた取組等を支援します。

2. プラスチック資源循環の推進 37（－）百万円

農林水産分野における持続可能なプラスチック利用対策事業

農林水産・食品産業のプラスチック資源循環を推進するため、使用済みPETボトルの新たなリサイクルモデルの構築、生分解性漁具の開発、農畜産業における廃プラスチック対策や生分解性マルチの導入等を支援します。

＜事業の流れ＞

委託、補助（定額、1/2以内）

民間団体等

（1①、2の事業）

交付（定額）

都道府県

定額、1/2以内

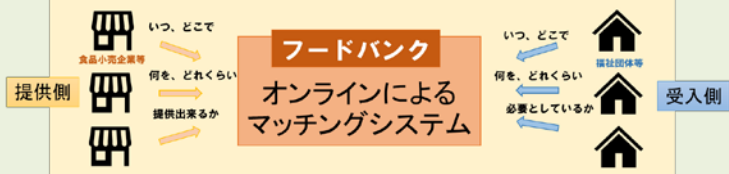
民間団体等

（1②の事業）

食品ロス

フードバンク活動マッチング支援

食品関連事業者等の供給情報と受入側の需要情報等を一元的に管理できるマッチングシステムの実証・構築を支援

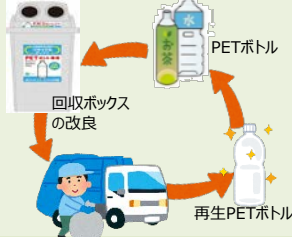


食品関連事業者等が安心して食品を提供できる体制を構築

プラスチック

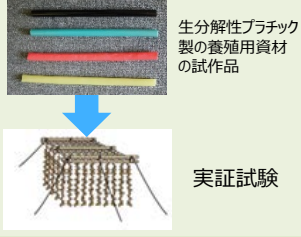
食品産業

新たなリサイクルモデルの構築



漁業

生分解性プラスチック製漁具の開発



農業

農畜産業における廃プラスチック対策の推進



【お問い合わせ先】 食料産業局バイオマス循環資源課（03-6738-6477）